

所管課分析シート

※ 団体の設立目的を再確認し、存在意義・独立性の観点から見直しを行うためのシートです。今後の関与の方向性を整理するために記入してください。

令和6年7月1日 現在

1. 外郭団体に対する現状分析

所管課名	北	区	産業振興	課	担当者名 (連絡先)	橋本 有理	所管する団体名	株式会社 まちづくり豊栄	
団体に求める姿、取り組み	取り巻く環境・時代の変化に対応し、行政や商工観光関係団体、大学、地域との調整を行い、北区の地域拠点としての機能を充実させるまちなか活性化事業の中心となる役割りを担う団体となってほしい。								
市の関与	直接的関与				間節的関与			増減の理由	
	出資、出捐	16,650		千円	事業費補助金			産学官まちなかりノベ事業（特色ある区づくり事業）において、新潟市北区葛塚エリアの空き家を活用し、賑わい創出・回遊性向上につながる取り組みや区内の大学や各種団体・民間企業等と連携した取り組みを当社へ委託。	
	派遣、兼務職員	常勤	名	非常勤	名	指定管理業務（公募）	施設		千円
	運営費補助金			千円	随意契約でない委託契約	件	千円		
	指定管理業務（非公募）		施設	千円	その他市からの収入に繋がるもの				
	随意契約	2	件	2,222	千円				
	その他								
現状分析 (評価に関する観点の整理)	存在意義	団体の設立目的について（設立目的は達成されていないか） <input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成しているが、将来課題を抱えている <input type="checkbox"/> 未達成 <input type="checkbox"/>	市及び市民への貢献度について（設置目的に対する役割を果たしているか） <input type="checkbox"/> 貢献度は低い <input checked="" type="checkbox"/> 受益者が一部に限られる <input type="checkbox"/> 貢献度は高い <input type="checkbox"/>	市直営事業との整理はできているか（事業の重複はないか） <input type="checkbox"/> 整理できている <input type="checkbox"/> 重複する事業がある <input checked="" type="checkbox"/> 市の施策に必要な事業を実施している <input type="checkbox"/>	事業活動の代替性について（民間事業者が類似事業を行えるか） <input type="checkbox"/> 民間でも実施可能である <input type="checkbox"/> 民間では代替できない <input checked="" type="checkbox"/> 課題を整理すれば代替可能 <input type="checkbox"/>				
	独立性	団体の自立的経営について（ヒト・コスト面で自立しているか） <input checked="" type="checkbox"/> 自立性が高い <input type="checkbox"/> 自立性が低い <input type="checkbox"/>	団体独自の経営努力について（コスト面・サービス向上など） <input checked="" type="checkbox"/> 取り組んでいる <input type="checkbox"/> 一層の取り組みが必要 <input type="checkbox"/>	随意契約の状況（競争性・透明性のない随意契約がないか） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善が必要である <input type="checkbox"/>	課題への取組状況 <input type="checkbox"/> 着実に対応を進めている <input checked="" type="checkbox"/> 対応を進めているが遅れている <input type="checkbox"/> 対応が困難				
団体の必要性	外部環境の変化に応じた会社の在り方や経営体制の見直しを行い、新たな観光協会主催イベントの開催や道の駅へ新規店舗を出店させる等、交流人口拡大への取り組みを進め、改善に向けて動き出している。 今後も、まちなか活性化を担う団体として有益な存在であるには、区ビジョンに合わせたまちづくりへ、積極的かつ主体的に参画し、当団体の設立目的に見合った活動を進められる体制を整え、地域の牽引役となることに期待したい。								
他団体との統合の可能性	第3セクターで収益のあがっている事業と不採算事業を合わせ持ってまちづくりに対する活動を行っており、統合可能な団体、法人は見当たらない。								
今後の関与の方向性	<input type="checkbox"/> 関与の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 関与の縮小 <input type="checkbox"/> 関与の廃止				【左記とした理由】 区ビジョンにおける交流人口の拡大、商業の活性化等の実施主体となり、商工会や地域団体と連携して賑わいづくりを行う組織の中核となるよう、これまで同様に関わっていく。				
その他 (次年度へ向けた課題など)	令和3年度より策定が必要なアクションプランが未策定。 不採算事業の再構築を検討・実行しながら、安定した収益が得られる経営体制への向上に取り組んでほしい。 設立目的であるまちづくりを進めていくためには、不採算事業の再構築を図る中で、事務局の人員体制の強化が必要と思われる。								

2. 外郭団体に対する改善指示事項への所管課としての関わり

No.	団体が抱える課題*	改善に向けた所管課の具体的な取り組み	関わったことによる成果	(未解決の場合) 今後の方針
1	「まちづくり会社」としての団体のあり方を明確にし、外部環境の変化に対応した団体独自のアクションプラン（新5か年計画）の見直し・修正が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・役員との協議の場を持ち、方向性について検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの策定に至らなかった。 ・道の駅豊栄へ新規店舗を出店させるなど、目標を上回る収益を得ることができた。 ・豊栄地域における市街地活性化事業において、商工団体、行政と一体となって事業展開し、賑わいの創出を果たした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの策定の目途をつけるよう促していく。 ・今後内容を熟慮し、取締役会等で諮っていく。
2	道の駅について、ハード面の改修に合わせた企画・イベントを実施するなど、集客および収益向上に向けた相乗効果を発揮できる施策を検討すべきである。			
3	赤字であるヤマザキショップ事業について、黒字転換できる方策を検討しつつ、事業のあり方、位置づけを整理する必要がある。			
4	道の駅の運営管理事業者として、今後の法人のあり方や運営手法などについて市と協議する必要がある。			
5	道の駅豊栄の清掃委託費の負担軽減について			

※外郭団体評価調書の「6. 経営改善状況（個別の取り組み）」に記載された「改善指示事項」が対象となります。